



ひのでたより

令和5年12月1日
ひので保育園

舞い散る落ち葉や冷たい風に寒さを感じる季節になりました。子どもたちとの触れ合いを通して感じる温もりが、いつもより愛おしく感じられる今日この頃です。今月は、体調管理に気をつけ、冬ならではの行事をお友だちと一緒に楽しみながら、一年の締めくくりの月を過ごしていきたいと思えます。



お出掛け楽しいな♪



こじか組、こぐま組、こあら組は、愛宕山遠足に行きました！



私たちの町が見えるね。



見て見て、葉っぱの色が
きれいだよ。



高い所まで登って来たね。

うさぎ組、こりす組、ひよこ組も、散歩を楽しんでいます！



山下通りにサンタさんを
探しに行ったよ。



堤防で「よーいドン！」



公園に行って落ち葉で遊んだよ。

お知らせとおねがい

☆1月15日～2月2日(土日を除く)、保育参観を予定しています。駐車場は、園庭横と園舎西側をご利用ください。ご不明な点は、職員にお尋ねください。詳細は、後日お知らせします。

☆来年度の入所手続きに必要な「就労証明書」の用紙は、1月になって配布致します。「就労証明書」の保護者記入欄に記入し、各事業所に提出し証明してもらってください。提出期限は、1月18日(木)です。提出をお願いします。

☆就労先やご住所、ご家族構成など変更された時は、必ず園にお伝え下さい。



子どもに伝わりやすい 言葉かけ

年末の慌ただしい時期になりました。少しでも時間を大切に使用したいですね。そんな時だからこそ使いたい、子どもたちへの「言葉かけ」をご紹介します。



忙しい時に、かまって欲しがる子どもには？

○ 1分間だけつき合い、それ以上になりそうなら「あとでね」と付箋を貼る

付箋を利用して忘れないようにすると、より子どもの納得度が上がる

× 「あとでね」とだけ言う

「あとでね」を言いすぎると寂しさや不安につながる

「ママ(パパ)がいい」と泣く子に効果があるのは？

○ 「そうだよね。ママ(パパ)がいいよね」と言う

「この人たちは、ちゃんと自分がママ(パパ)のこと大好きと言うことをわかってくれている」と安心する

× 「パパ(ママ)も○○ちゃんのこと大好きなのに」と言う

無理やり離そうとするとますますくっつくとし、その人以外を嫌がるようになる

子どもに何かしてほしい時は？

○ 「手伝うね」と言う

たとえば、「お片付けしなさい」と言うよりも「お片付け手伝うね」の方が主役はあなたという認識に！

× 「○○しなさい！」と言う

命令されたことのように思ってしまう

「えらいね」「いいこだね」よりもはるかに効く！効果抜群のほめ方



「ほめて育てましょう」と子育てではよく言われますが、どうやってほめたら子どもは、もっとうれしいのでしょうか？ポイントが2つあります。

- ① ほめるときに「えらいね」「いいこだね」の代わりに「できたね」を使う！
たとえば、お片付けができたときには、「お片付けできたね！」これだけです。これを言うことで、「自分がしたことをきちんと大人がわかってくれた」と感じてうれしくなります。
- ② ほめるときに、「気持ちをほめる」
たとえば、お友だちにおもちゃを貸してあげた時には、「おもちゃ貸せたね。優しいね」「ママもうれしいな」など子どもや大人の気持ちを言葉にしてあげることで、自分がしたことによる相手へのいい影響を振り返りやすくなり、うれしさがさらにアップすることになります。



ぜひ試してみてくださいね。